

過去の過ち 180km/h リミッター作動 Zのパトカー発見急ブレーキ

20代の頃、名神高速道路の一宮の直線を深夜に走っていると、速度リミッターの作動を試したくなり、180km/hで走行していたところ、突然燃料カットが入りリミッターが作動しました。その後、170km/hで走り続けていると、前方に車高の低い車の屋根に何かが見え、「あっ、パトカーだ」と気付きました。慌てて急ブレーキをかけて速度を100km/h以下に落とし、Zのパトカーと並んだ瞬間、回転灯が突然点灯しましたが、間一髪で捕まらずに済みました。

20代の頃は深夜や早朝にスピードを出して走ることが多かったですが、30代以降は法定速度を守ることが心掛けています。一般道では法定速度プラス10km/h以内、高速道路では走行車線を利用しながら90km/hから最大でも120km/h以内で走行しています。

名古屋市から「違法駐車キャンペーン」のビデオ制作を依頼された際、違法駐車が原因で子供が車道に飛び出す危険性を訴えるシーンを撮影しました。この経験をきっかけに、法律をより厳守するようになり、それ以来駐車違反をしたことはありません。特に住宅地では30km/h以下の速度で慎重に走行するよう心掛けています。